

各大学の養成する専門分野・人材像、養成人数等



京都大学

▶次世代の抗悪性腫瘍薬臨床開発を担う研究者養成コース

養成する専門分野	がん薬物療法学
養成する人材像	腫瘍生物学を理解し生物学的研究を遂行できる能力を有する研究者。大学・研究所・ベンチャー企業などのシーズ（新規抗がん薬）とバイオマーカーの臨床開発において、開発治験や臨床試験に精通しかつプロジェクトマネジメントやコーディネートができる専門医
養成人数（受入目標）	24年度：2名、25年度：3名、26年度：3名、27年度：4名、28年度：3名 (計15名)

▶先端的放射線治療開発を担う研究者養成コース

養成する専門分野	放射線治療医
養成する人材像	革新的な放射線治療機器、放射線増感法といった先端的な放射線治療の研究・開発を医工連携、産学連携の観点を含めて主導できる放射線治療医
養成人数（受入目標）	24年度：3名、25年度：4名、26年度：5名、27年度：5名、28年度：5名 (計22名)

▶次世代の手術療法・機器開発を担う研究者養成コース

養成する専門分野	外科医、泌尿器科医
養成する人材像	次世代のがん手術療法を開発する研究者。横断的また学際的に研究を遂行できる能力をもち、ナビゲーション手術法、手術シミュレーション法の開発が担える人材。新規分子プローブの開発と臨床応用が担える人材。診断治療機器の臨床開発能力をもつ人材
養成人数（受入目標）	24年度：2名、25年度：3名、26年度：4名、27年度：4名、28年度：2名 (計15名)

▶新しい婦人科がん治療の開発を担う研究者養成コース

養成する専門分野	婦人科腫瘍専門医
養成する人材像	婦人科がん（子宮頸がん、体がん、卵巣がん等）の発生・進展分子機序の解明を行う基礎研究、先端治療開発を行うトランスレーショナルリサーチ（TR）、および標準治療確立のための臨床試験を自ら立案して遂行できる人材の育成を行う。同時に、高度の婦人科がん診療を遂行するスペシャリストである日本婦人科腫瘍学会の「婦人科腫瘍専門医」取得を目指す
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：2名、27年度：2名、28年度：2名 (計8名)

▶高度ながん研究・がんチーム医療を実践できるがん専門薬剤師（研究者）養成コース

養成する専門分野	薬剤師
養成する人材像	グローバルな視点で、化学療法についての研究、及び化学療法を中心とした高度なチーム医療を実践できるがん専門薬剤師（研究者）
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶先端医学物理研究者養成コース

養成する専門分野	医学物理
養成する人材像	がん放射線治療の発展に資する新技術・機器を考案、医療ニーズを考慮した研究開発を実施しうる、また得られた成果を世界に発信できる医学物理士
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：2名、26年度：2名、27年度：2名、28年度：2名 (計9名)

▶新しいがんリハビリテーション法の開発を担う研究者養成コース

養成する専門分野	がんリハビリテーションを専門とする理学療法士・作業療法士（修士、博士）、医師（博士）
養成する人材像	がんリハビリテーションの新規方法論の開発、医療機器の開発、標準的治療法の確立へのエビデンス蓄積に貢献できる人材、制度、費用対効果、心理、環境等の大きな視点を持つ人材
養成人数（受入目標）	24年度：2名、25年度：2名、26年度：2名、27年度：2名、28年度：2名 (計10名)

▶外来がん化学療法チーム養成コース（インテンシブ）

養成する専門分野	外来がん化学療法チーム
コースの履修対象者	市中病院及び大学病院においてがん外来化学療法に関わる医師、看護師、薬剤師の医療チーム
養成する人材像	抗がん薬に関する最新かつ高度な専門的知識が必要とされる外来がん化学療法に係る各地域の中核的病院の医師、看護師、薬剤師からなる外来がん化学療法診療チーム
養成人数（受入目標）	24年度：72名、25年度：72名、26年度：72名、27年度：72名、28年度：72名 (計360名)



▶高度放射線治療を担う人材養成コース（インテンシブ）

養成する専門分野	放射線治療医・医学物理士・診療放射線技師
コースの履修対象者	市中病院勤務の放射線治療医・医学物理士・診療放射線技師
養成する人材像	市中病院における放射線治療の臨床診療を、最新の知見に基づいてより高精度化することを主導していく事のできる人材
養成人数（受入目標）	24年度：55名、25年度：55名、26年度：55名、27年度：55名、28年度：55名 (計275名) (各年度 ①症例検討会形式のセミナー：50名、②京都大学高精度放射線治療ワークショップ：4名、③マンツーマン形式の短期実習：1名)

▶地域がん医療を担う薬剤師養成コース（インテンシブ）

養成する専門分野	薬剤師
コースの履修対象者	市中病院・薬局勤務の薬剤師および大学教員・学生
養成する人材像	地域がん医療における病院－薬局－在宅の連携を強化するとともに最先端のがん化学療法・緩和ケア・支持療法を理解して薬学的観点からがん研究・学術調査を自ら推進し、エビデンスを構築することができるがんプロフェッショナル薬剤師
養成人数（受入目標）	24年度：200名、25年度：200名、26年度：200名、27年度：200名、 28年度：200名（計1,000名） (各年度 ①研修会形式のインテンシブコース：100名 ②講演会形式のインテンシブコース：100名)

▶次世代の臨床試験を担う人材養成コース（インテンシブ）

養成する専門分野	臨床腫瘍学
コースの履修対象者	がん領域の臨床試験に関わる医師、薬剤師、看護師、検査技師等
養成する人材像	がん領域の高度専門知識が要求される企業または医師主導治験や国際共同臨床試験なども主導できる能力を持った医師、またはクリニカル・リサーチ・コーディネーターやデータ・マネージャーなどの臨床試験支援スタッフ
養成人数（受入目標）	24年度：3名、25年度：5名、26年度：5名、27年度：8名、28年度：8名 (計29名)





▶放射線腫瘍医養成コース

養成する専門分野	放射線治療医
養成する人材像	がん治療において、従来のX線による放射線治療のみではなく、粒子線治療の知識も兼ね備え、各々の患者に対して、手術や化学療法も踏まえた最適な治療を検討できる人材を育成する
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶乳腺外科専門医養成コース

養成する専門分野	外科系乳腺専門医
養成する人材像	手術療法を中心とした最先端のがん医療を実践しながら、臨床研究を先導できる高度な乳癌診療専門医を育成する
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶がん専門薬剤師養成コース

養成する専門分野	がん専門薬剤師
養成する人材像	がん薬物療法について高度な知識・技術と臨床経験を備え、チーム医療を推進し、国際的な視野を持つ優れたがん専門薬剤師を養成する
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶腫瘍内科専門医養成コース

養成する専門分野	腫瘍内科医
養成する人材像	他職種と連携するチーム医療の実践、他の診療科、医療機関との垣根を越えた連携によるがん集学的、全人的医療の実践、在宅療養も含めた幅広い地域医療を実践できる人材を育成する
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶婦人科がん治療専門医養成コース

養成する専門分野	婦人科腫瘍専門医
養成する人材像	集学的治療を行える婦人科がん治療専門医を育成し、地域婦人科がん医療に貢献する専門医となるのを目標とする
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：2名、28年度：2名 (計7名)

▶ チーム医療を促進するがん看護を専門とする看護師養成コース

養成する専門分野	がん看護
養成する人材像	三重県のがん医療の質向上のために看護部門におけるリーダー的役割を担い他職種と連携・協働するがん看護専門看護師 がんチーム医療を促進するメンバーとして患者の意向を尊重し長期にわたるがん治療を切れ目なくうけることができるよう援助し地域を基盤に活躍するがん看護を専門とする看護師
養成人数（受入目標）	24年度：2名、25年度：2名、26年度：2名、27年度：2名、28年度：2名 (計10名)

▶ がん治療医養成コース（インテンシブ）

養成する専門分野	がん治療医
コースの履修対象者	がん医療に携わる医師
養成する人材像	がん治療の共通基盤となる臨床腫瘍学の知識とその実践を支える基本的技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践できる優れたがん治療医を目指す
養成人数（受入目標）	24年度：10名、25年度：10名、26年度：10名、27年度：10名、28年度：10名 (計50名)

▶ 緩和医療医養成コース（インテンシブ）

養成する専門分野	緩和医療医
コースの履修対象者	がん医療に携わる医師
養成する人材像	がん患者や家族を全人的に把握し理解できる能力と資質を備えチーム医療のマネジメントやコンサルテーション等の能力を有し、地域での在宅緩和ケアも含めた緩和医療を適切に実践できる人材を養成する
養成人数（受入目標）	24年度：10名、25年度：10名、26年度：10名、27年度：10名、28年度：10名 (計50名)





▶地域の放射線治療を支える専門医養成コース

養成する専門分野	放射線治療医
養成する人材像	基礎的な放射線治療法に習熟しているばかりでなく、定位放射線治療強度変調放射線治療などの高精度放射線治療にも対応できる高い知識と技能を持った放射線治療医さらに、地域医療機関での放射線治療の質的向上のために、他職種とのチーム医療や教育にも熱意と能力をもった放射線治療医
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶地域のがん薬物療法を支える薬剤師養成コース

養成する専門分野	薬剤師
養成する人材像	がん化学療法、支持療法、緩和薬物療法等、がん薬物療法全般に精通し、がん拠点病院と地域中核病院や保険薬局に勤務する薬剤師との連携を図りながら、薬剤業務の質的向上と地域医療における臨床問題（研究課題の設定も含む）の解決に貢献できる薬剤師
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶新しいがん診断・治療法開発を担う研究者養成コース

養成する専門分野	がん研究医・がん研究者
養成する人材像	がんの薬物療法に精通したチーム医療を担うスタッフ（医師、看護師等の医療技術者）であるとともに、がんの新たな診断・治療薬開発研究に従事できる高度かつ学際的な研究能力を備えた人材を育成する
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶新しい外科医療開発・応用を担う研究者養成コース

養成する専門分野	外科医療研究医・外科専門医
養成する人材像	がんの手術療法開発の研究者及び新しい手術療法を実践する外科専門医 新たな手術方法・機器システム研究開発に従事し、新治療法を確立し医療に反映できる研究能力を備えた人材を育成する
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：1名、26年度：1名、27年度：1名、28年度：1名 (計5名)

▶高度放射線治療を担う医療人養成コース（インテンシブ）

養成する専門分野	放射線治療医・診療放射線技師
コースの履修対象者	地域医療機関医師・診療放射線技師
養成する人材像	地域医療機関における放射線診療を最新の知見に基づいて高精度化していくことが可能な人材
養成人数（受入目標）	24年度：21名、25年度：21名、26年度：21名、27年度：21名、28年度：21名 (計105名) (各年度 ①症例検討形式のセミナー：20名、②短期実習：1名)

▶地域のがん薬物療法を支える薬剤師養成コース（インテンシブ）

養成する専門分野	薬剤師
コースの履修対象者	市中病院・薬局勤務の薬剤師および大学教員・学生
養成する人材像	がん化学療法、支持療法、緩和薬物療法等、日常診療あるいは地域連携に関する問題点を薬学的に解決し、医師（病院勤務医、開業医）、看護師（病院看護師、訪問看護師）、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど、他職種とのチーム医療が実践できる薬剤師
養成人数（受入目標）	24年度：100名、25年度：100名、26年度：100名、27年度：100名、 28年度：100名（計500名）





▶化学療法専門医養成コース

養成する専門分野	がん薬物療法
養成する人材像	がん薬物療法の質の向上を目指して、臨床試験に関与し、緩和治療も行える人材、先端的な臨床開発研究にも関与できる、臨床腫瘍学全般にわたる深い知識を持つ人材
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：2名、26年度：2名、27年度：2名、28年度：2名 (計9名)

▶放射線療法専門医養成コース

養成する専門分野	放射線治療
養成する人材像	GRT、IMRTなど新しい放射線治療技術を取得でき、国際的に活躍できる人材、放射線治療において、患者の生命予後だけでなく生活予後にも配慮した治療を行うことができる人材
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：2名、26年度：2名、27年度：2名、28年度：2名 (計9名)

▶がん手術療法専門医養成コース

養成する専門分野	がん治療
養成する人材像	手術療法、抗がん剤治療、放射線治療等を場合により適宜組み合わせた最先端の治療法をマスターし、個々の患者にあった最善の手術治療を含めた集学的治療が提供できる人材
養成人数（受入目標）	24年度：1名、25年度：2名、26年度：2名、27年度：2名、28年度：2名 (計9名)



▶がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース

養成する専門分野	臨床腫瘍薬学
養成する人材像	薬学・薬物療法全般について広い知識を有すると共に、がん薬物療法について深い知識と臨床経験を有し、これらの知識・経験を土台として先端的がん研究の発展に貢献できる薬学研究者
養成人数（受入目標）	24年度：2名、25年度：2名、26年度：2名、27年度：2名、28年度：2名 (計10名)